

## 航空宇宙工学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	International Conference on Frontiers in Materials Processing, Applications, Research& Technology FiMPART'17
演題名	(招待講演) Investigations of Reaction Layers between CVDSiC Fiber and TiAl Matrix
発表者	○ <u>Keizo Hashimoto</u>
内容	炭化ケイ素繊維強化金属間化合物基複合材についての研究は帝京大のみで行っている斬新な研究であり、TiAl金属間化合物の適用例として注目されている。繊維と界面の反応についてEDS分析結果、X線回折結果を突き合わせて、反応生成物を同定した。質問は、複合材の破壊靱性値についてであった。破壊靱性値は重要な測定項目であるが、複合材の破壊靱性試験自体十分確立されておらず検討項目であることを回答した。さらに、TiAlの合金成分について質問があった。これについては長年研究を重ねているので、TiAl合金成分としては現在のところCr添加が最も優れていることを述べた。さらに研究を進展させ、オリジナリティを確立する予定である。